

ボランティアセンター 東日本大震災支援ニュース

日本医療福祉生協連 近畿ブロック

2011年6月1日 No25

発行担当 神戸医療生協・山根

連絡先 090-6056-8275

避難所へ自転車を届け感謝の声

依頼件数

泥かき 7件

床板はがし 2件

庭掃除 4件

引越し 0件

角田市にある山元町からの被災者の避難所に自転車を届けました。角田市農村環境改善センターの避難所は笠野地区から10世帯21名の被災者が避難、ほとんど全ての家が津波で流された地区で、きのみ気のままに避難された方々です。普段の足として自転車は本当に助かりますとの感謝の声をいただきました。自転車の支援は移動手段として必要との声が多く聞かれます。

山元町の現状を役場総務課で再確認しました

(5月31日現在)

死者671名 行方不明63名 家屋の全壊2103棟(うち流失1002棟)

大規模半壊540棟 半壊399棟

海岸から1Km範囲 建物は新築の建物が一部残る程度で概ね流出

1. 5Km範囲 新築の建物が残存する程度でほとんどの建物が流出

1. 5Kmから国道6号の範囲 建物の床上2m程度水没

避難所 5ヶ所 711名 ピーク時避難者 5826人

仮設住宅 2ヶ所 179戸 712名 建設予定 7ヶ所 計600戸

花釜地域に調査訪問

花釜地区を訪問調査に入りました。

(花釜地区 山下駅東地域の訪問)

今日も曇り空の肌寒い中でしたが、高齢のご夫婦が家の片付けに帰っておられました。お話しをお聞きすると地震当日は買い物に出ているのを逃れたとのこと、平屋のお宅で全て水没、自宅にいたら流されていたとのこと。現在仙台市の子供さんの所に避難しているが、これからのことなど町からの連絡がほとんど入らないので不安とのことのお話しです。私たち日本医療福祉連合会での支援活動の内容をお話しし、いつでもご連絡くださいとの声かけをおこないました。

